

## たはら地域未来塾

## 取組の効果

今年度は、コロナウイルス感染症感染拡大に伴い、例年4月中旬開講時期を遅らせ、感染症対策を徹底したうえで10月中旬より4地区中、3地区を開講した。開講開始時期のタイミングに苦勞した。1地区については講師の確保ができず、開講はできてないため早期の開講を目指す。

- 背景・ねらい** | 中学生を対象として、学習習慣の定着を図るために実施。学校や家庭との連携を図り、支援が必要な子供の居場所づくりとしての活用を目指している。
- 対象校・対象者** | 市内の中学校に通う生徒（東部、田原、赤羽根、福江の4中学校区）
- 実施教科** | 教科の指定は特に設けていない。（数学、英語を中心に）
- 実施場所** | 中学校の学習室及び、市民館の会議室
- 実施の形態** | 自習形式で生徒が宿題、教材を持ち込み、分からないところは個別に質問する。
- 実施日・回数** | 10月中旬～3月中旬の毎週木曜日（部活動のない日に設定）・最大18日  
| 東部中学校・田原中学校：授業後1時間 赤羽根市民館：午後5時～6時30分（1.5時間）  
| 福江市民館：午後5時～7時（2時間）予定（今年度・開講未定）
- 登録人数** | 37名
- 参加人数（平均）** | 27名（3か所開催、1教室あたり平均9人）



## コーディネーター等の取組の様子

運営は各会場の講師が主となって行い。市では、市民館や学校への協力要請、講師や参加者生徒の募集、指導方法や生徒への接し方について助言をしたり、必要に応じて講師の意見交換会を実施したりして改善に努めている。